

発行者：食育のふるさとさかだにをよくする会

発行日：令和3年11月1日

さかだに瓦版（かわらばん）

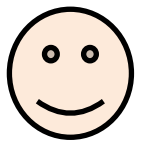
～阪谷地区の今～

第1号【簡易版】



最近、時代の流れにより地域でいろいろな問題が発生してきて、
このままでは住み続けていくことができないという声を耳にするようになってきました。

全国的にも少子高齢化とかよく聞くけど…
実際に身近で何が起きているかはよくわからないなあ…



では、みなさんが知っているようで知らない阪谷地区の今を、
いろんなデータをもとにみていきましょう。

【第1号の内容】

第1章 阪谷地区の少子高齢化とそれに伴う問題

- 阪谷の人口及び人口体系の変化
- 阪谷の集落行事（作業）の実情
- 阪谷地区の子育ての実情
- 阪谷地区の空き家、空き地の実情

[次回以降の発行予定]

令和4年1月下旬

第2章 阪谷地区の働く場の実情

令和4年4月下旬

第3章 阪谷地区の生活環境

（※現時点での予定です。）

詳細版はもっと詳しくデータ等が記載されています。希望される方は阪谷公民館でお配りします!!

第1章 阪谷地区の少子高齢化とそれに伴う問題

～ 阪谷の人口及び人口体系の変化 ～

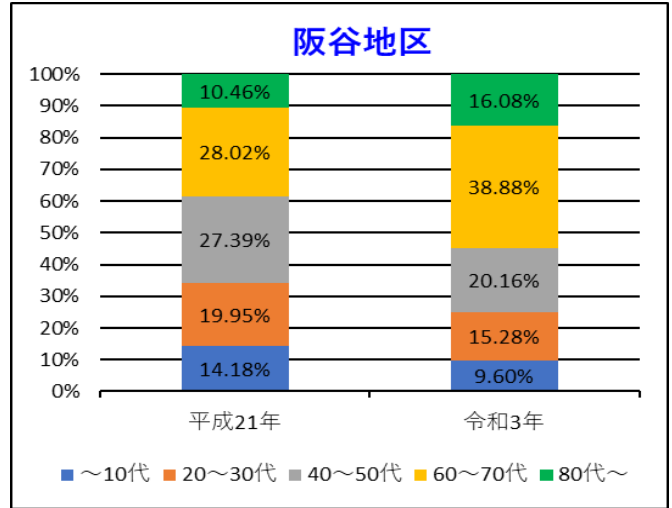
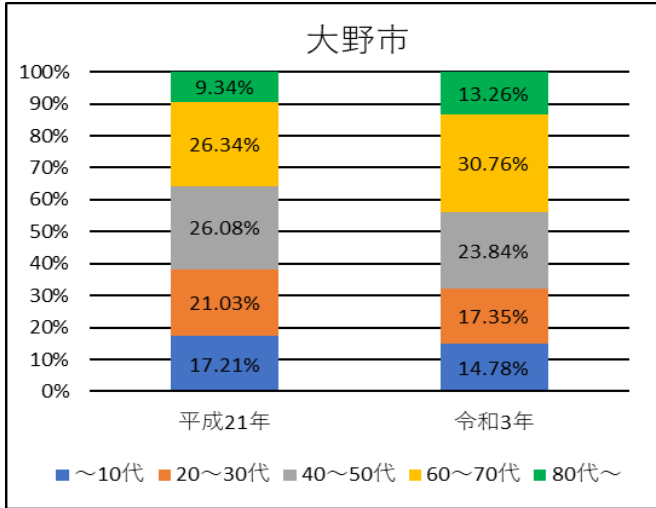
人口

	平成21年	令和3年	増減率
大野市	38,061	32,083	-15.71%
阪谷地区	1,749	1,250	-28.53%

世帯数

	平成21年	令和3年	増減率
大野市	12,156	11,748	-3.36%
阪谷地区	485	422	-12.99%

年代別人口割合



人口自然増減数 (※出生数－死亡数) の割合

平成23年～令和3年	人口増減数	自然増減数	自然増減数の割合
大野市	-4,889	-2,925	60%
阪谷地区	-425	-193	45%

条件別世帯割合

	大野市		阪谷地区	
	平成23年	令和3年	平成23年	令和3年
未成年者が同居する世帯数	28.55%	22.29%	25.94%	15.17%
65歳以上のみの世帯数	23.99%	32.09%	25.73%	36.97%
75歳以上のみの世帯数	12.82%	16.40%	15.06%	18.01%



【大野市全体と比べて阪谷地区の主な特徴】

- ★人口の減り方が大きい。
- ★世帯数も減少傾向が大きい。
- ★若い世代が少なく、高齢者の方の割合が多い傾向が大きい。
- ★人口増減における自然増減の割合が少ない。
- ★未成年者が同居する世帯の減少傾向、高齢者のみの世帯の増加傾向が大きい。

「大野市人口ビジョン」の中では、このままだと大野市の定住人口は、**令和27年には19,747人まで減少**し、年少人口割合の減少や老年人口割合の増加も進むものとされているよ。
この少子高齢化が地域のどんな問題と関係しているかを見ていこう。

～ 阪谷の集落行事（作業）の実情 ～

各区の主な行事（作業）

【作業】 ※回数は各区の状況によってばらつきがありますので、目安の数字です。

- 公園等の草刈、清掃（年1～4回）
- 用水路等の清掃（年1～3回）
- 集落センター等の雪囲い設置等（年2回）
- ゴミステーションの清掃（月1～4回）
- 花壇整備（随時）
- 鳥獣害用の電気柵の設置等（年2回）
- 集落センター等の雪下ろし、除雪（随時）
- その他（山地下刈り、山道整備 など）

【行事】 ※回数は各区の状況によってばらつきがありますので、目安の数字です。

- 常会（毎月）、総会（年1回）
- 神社等祭り（年1～3回）
- 田休み（年1回）
- 新年会、忘年会（各年1回）
- その他（どんど焼き など）



阪谷地区では18の区や「阪谷をよくする会」「スポーツ協会」などのいろいろな団体などが、住みやすい地域を創るため、行事や作業を行ったり、役を担ったりして生活しているよ。これらは地域としてはとても大切なことだけど、実際それらを担う人自体が減っていて、そのため、一人一人の負担が大きくなってきているね。このまま進むと、負担が大きくなって地域として存続していけなくなる恐れがあるよ。

～ 阪谷地区の子育ての実情 ～

小学校児童数

	平成21年度	令和3年度
大野市	1,881	1,376
阪谷小学校	61	24

中学校生徒数

	平成21年度	令和3年度
大野市	1,086	782
尚徳中学校	136	73

阪谷地区放課後子ども教室の登録率

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
登録児童数	41	42	38	38	40	39	26	25	23	22
全校児童数	58	57	54	52	51	48	33	29	24	24
登録率	70.69%	73.68%	70.37%	73.08%	78.43%	81.25%	78.79%	86.21%	95.83%	91.67%

※放課後子ども教室とは…

放課後に安全で安心して仲間と遊べる居場所づくりを目的に、学校のある日の放課後、公民館で開催しています。

阪谷保育園の園児数等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
園児数	14	14	17	17	21	19	14
定員数	20	20	20	20	20	20	20
入所率	70%	70%	85%	85%	105%	95%	70%



子どもが少ないので、現在は、阪谷小学校では2学年ずつの複式学級、尚徳中学校では、音楽、美術、技術、家庭科の教科で専門教科教員を配置できない状況が続いているよ。市ではこれらを解消し、最適な教育環境を整備するため、小中学校再編計画（案）を作成し取り組んでいて、その計画（案）では、令和6年度に尚徳中学校は陽明中学校と統合、令和8年度に阪谷小学校は富田小学校と統合を計画（案）としているよ。

放課後子ども教室は、現在はほとんどの児童が利用しており、夏休みなど教室がない時も、阪谷地区では「阪谷子育てクラブ」の人たちが子ども達を預かって見守ってくれているよ。

阪谷保育園については、令和1年度以降、園児数が減少傾向にあるよ。

～ 阪谷の空き家、空き地の実情 ～

空き家数実態把握調査データ

		平成28年度 実態調査	令和3年度 実態調査	空き家等 増加数
大野市全体	空き家等数	528	827	299
阪谷地区	空き家等数	39	94	55

※調査は、住宅地図や聞き取りなどの方法で事前に空き家の可能性がある箇所をリストアップし、その箇所を現地踏査で確認し行っています。



空き家の発生の状況にはいろいろあって、単純に引っ越しで他の地域に移る時に、そのままほったらかしにして去って行ってしまふモラルの問題によるケースもあれば、高齢者のみの世帯で、介護施設などに入らざるをえなくなって、家や土地の世話ができなくなってしまふようなことで発生するケースも多くなってきているみたいだよ。

世帯数自体の減少はもちろん、高齢者だけの世帯の増加も空き家の発生の理由の一つにあるということは、これからも空き家や空き地が増えていく可能性は高いと思われるね。

空き家や空き地が発生する理由には、個人の理由もあるから、なかなか抑えるのは難しいと思われるけど、逆に家や土地を必要とする人がいたらその人に渡せるような仕組み作りも必要になってくるだろうね。